

平成 29 年 11 月 8 日  
運輸安全委員会

## 大阪市で発生した KLM オランダ航空機の重大インシデントに関する情報提供

運輸安全委員会は、9 月 23 日に大阪市付近で発生した KLM オランダ航空機の重大インシデントに関し、本日、国土交通省航空局へ情報提供を行いました。

### 1. 重大インシデントの概要

KLM オランダ航空所属 PH-BQC（ボーイング式 777-200ER 型）は、平成 29 年 9 月 23 日、関西国際空港を離陸し大阪市付近上空を上昇中、右主翼後縁付け根上方の胴体パネル 1 枚が脱落し、大阪市北区付近を走行中の車両に衝突した。

### 2. 調査内容

現在までの調査の結果、以下の事実が判明した。（別紙 1～4 参照）

- ・ パネル（198AR）を機体に固定するブラケット（金具 P/N:149W5913-4）に破断が認められた。
- ・ 当該ブラケット部を除き、パネルを機体に固定していたボルト及びスクリューは、機体に取り付いたままとなっていたが、ボルトの一部に誤部品が使用されていた。
- ・ パネルの穴には、ボルト及びスクリューが通り抜けた痕跡が残されていた。

### 3. 情報提供

上記調査内容について、本日付けで首席航空事故調査官から航空局安全部 運航安全課長あて情報提供を行った。

#### 【問い合わせ先】

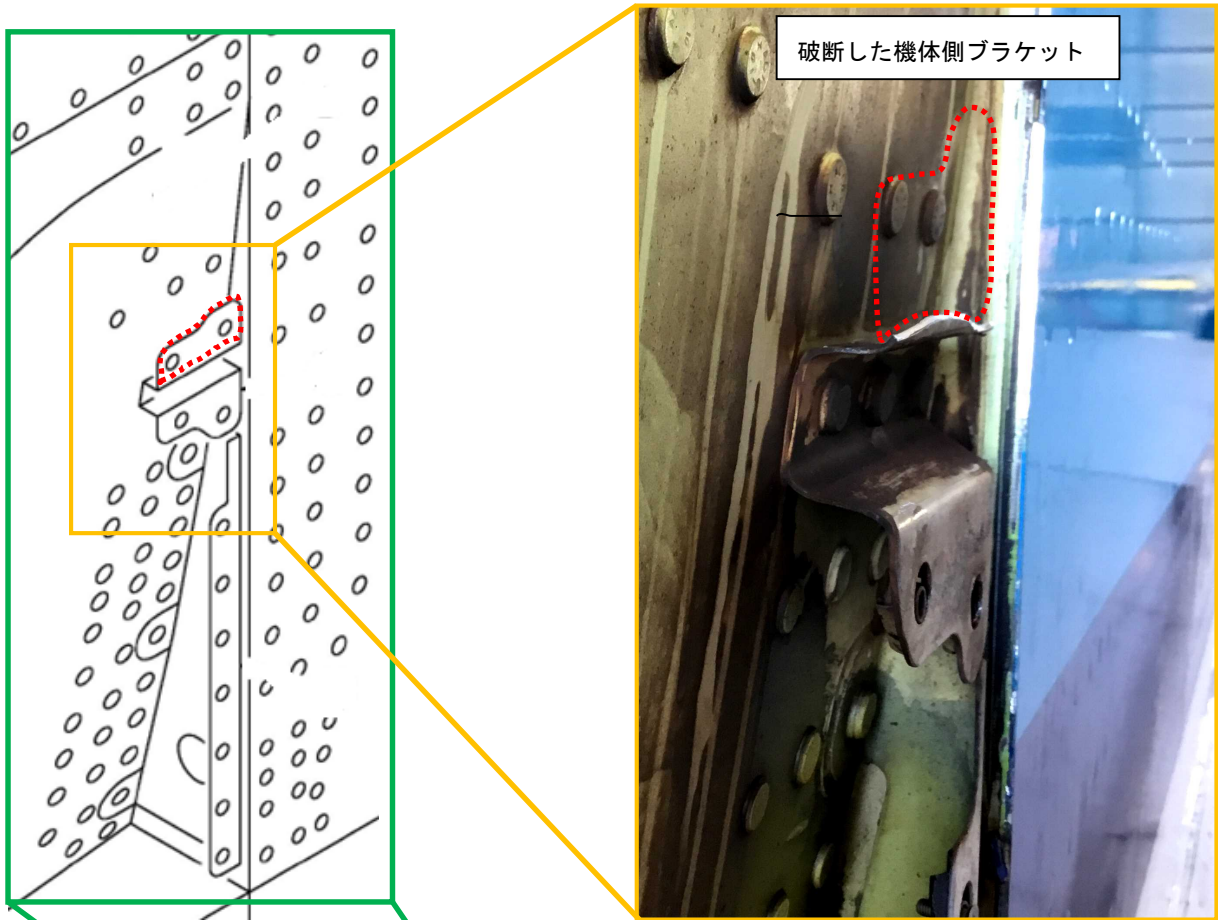
運輸安全委員会事務局 広報室 高橋、祖父江

電話 03-5253-8111（内線 54131、54133）

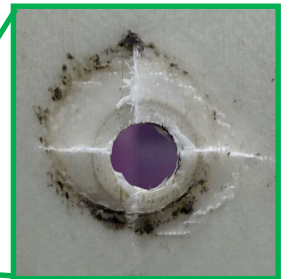
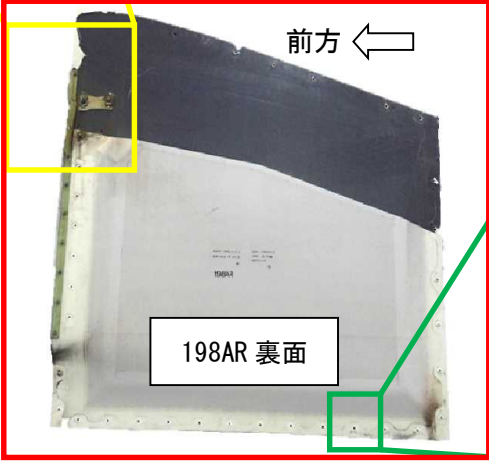
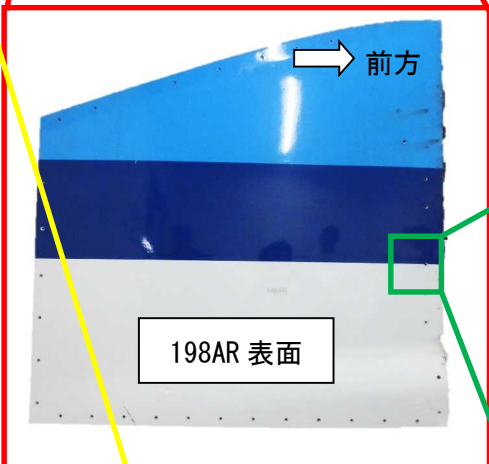
03-5253-8819（直通）

FAX 03-5253-1680

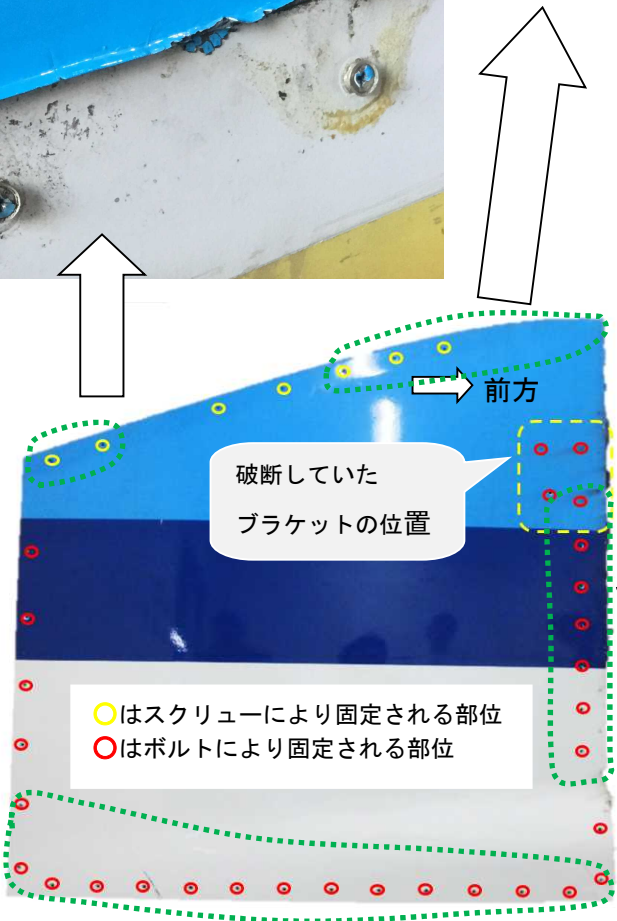
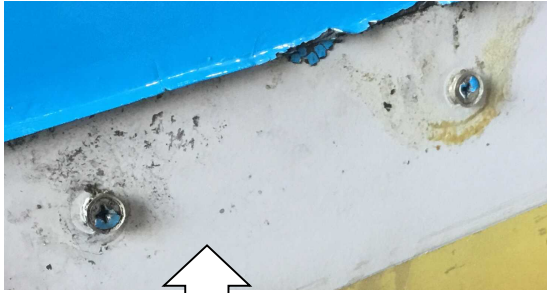
破断した機体側ブラケットの状態



脱落したパネル及びパネル側ブラケットの状態



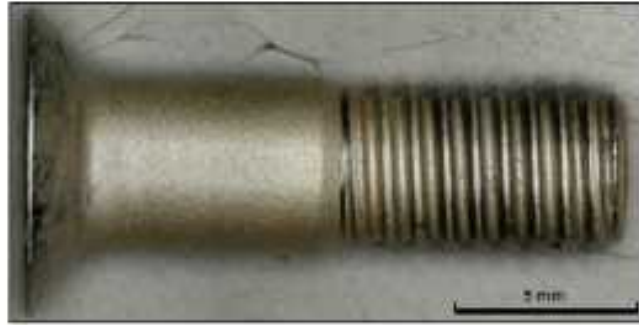
# 機体側パネル取り付け部の状態



正規部品と誤部品との比較



正規部品の部品番号 BACB30LH3-4



誤部品の部品番号 BACB30XD3K5

